

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 福祉総務課
予 算	01 一般会計
会 計	03 民生費
科 目	01 社会福祉費
目 目	01 社会福祉総務費

事業名	社会福祉一般事業	事業開始年度	平成 22 年度
	災害弱者への支援	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市災害時要援護者避難 支援制度実施要領

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	避難行動要支援者 (高齢者・障がい者 等)	平常時から避難行動要支援者の所在を把握するための名簿を作成し、災害発生時 や災害が発生するおそれがある場合に、的確かつ迅速な避難支援等を実施される、 自主防災組織等との連携を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	民生委員児童委員協議会、町 内会連合会、区会、総代会な どの地域団体等	・制度の周知 ・個人情報の管理 ・避難行動要支援者台帳の整備 ・個別計画作成の支援

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

《事業の内容》

- ・災害時に何らかの避難支援を必要とする障がいのある人や一人暮らし高齢者などの災害時要援護者を把握するため、災害時要援護者の新規申請受付、災害時要援護者台帳のデータ整理を行った。
- ・災害時要援護者台帳管理システムについて
H27年度から制度移行する「避難行動要支援者避難支援事業」の準備のため、登録者データに対し個人番号の付番等のデータ整理を実施した。新規登録者について、要援護者台帳へ追加した。

【歳出】
事務事業委託料 496,800円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	119,625	496,800		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	119,625	496,800		
人件費(按分) B		0.11 人 933,460	0.25 人 2,143,500		
総事業費 (A+B)		1,053,085	2,640,300		
単位 換算 コスト	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	9	23		
	② 要援護者	1,557 人	1,424 人		
	要援護者1人当たり	676	1,854		

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25 実績値	H26 目標値	H26 実績値	H27 目標値	備考
活動 成果	登録者数	人	1,577	2,700	1424	3,000	累計
	協定支援団体数	団体	16	33	16	33	累計
	支援者数	人	94	2,300	94	3,500	累計